
魔王リリカルなのは外伝 《ロストボイストラベラーズ》 Episode — 2. 5 — 冒険 —

パワード・マウンテン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

元神魔王リリカルなのは外伝Epi^{ロストボイストラベラーズ}sode | 2.5 | 冒険

【Nコード】

N1994W

【作者名】

パワード・マウンテン

【あらすじ】

コトバ、無くす、探す、見つける……。
宝箱、探し当て、また探す……。
逃さないように、逃さないように……。

Episode | 2. 5..ストーリー1【交わる時のユメ】

——広い空間——

ギギギギギ

少女

「ここは……。」

——なののか?——

少女

「え!?!」

男

「何だ……違ったのか……。」

少女

「貴方は……。」

男

「あん? オレか? オレは……。」

フム

男

「何だろう？」

少女

「何だろう？」

男

「そうだ、何だろう！」

少女

「そうですか、何だろう！」

ふっ

—
—
ア
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ
！
！
—
—

男

「アハハ！おまえゝゝ面白いやつだなゝゝ！！」

少女

「クス、アナタも、負けてません!!」

そう言えば

日向

「名前…言ってませんでしたね……日向です!」

男

「日向か……。」

む!

日向

「どうしました!」

男

「あ……いや……オレの知り合いに、どことなく……似ていたかな
くっなんて!」

ズイ

日向

「可愛いかったですか？」

へ？

ズズイ

日向

「可愛いかったですか？」

えーっと

ズズズイ

日向

「かゝわゝいゝ……！」

あーあー！

男

「可愛い！可愛いよー！！」

日向

「そうですか！」

ニコッ

男

「過激な、なのはって感じた……。」

ボソ

日向

「何か！」

ギロ

男

「いえ、何でも！」

あせあせ

ん？

日向

「そー言えば……貴方のお名前……聞いてませんでしたね？」

男

「あ？ああ……オレの名は……。」

ゴォーン、ゴォーン、ゴォーン……。

あ

男

「――――」

お名前

ゴォーン、ゴォーン、ゴォーン……。

――聞かなくちゃ……。――

ゴォーン、ゴォーン、ゴォーン……。

Episode | 2. 5..ストーリー2【可能性……そのネガイヲ、ノセテ】

——数年前の嵐が多発する研究所——

ゴオオオオオオオ……。

——カプセルルーム——

ピッ
ピッ

M

「……………」

コツ
コツ

M

「未だに……アストレイギュラーズは……予備のほうも……。」

コツ
コツ……………」

ス
ッ

——シリーズ00【ヒナタ】——

フッ

M

「コレは……もう用済みだな……しかし……。」

ピッ
ピッ

ヴァン

コンピュータ

『何処ニ、射出シマスカ?』

M

「そうだな……やはり……。」

ピッ
ピッ

コンピュータ

『解リマシタ。』

プシュー

コンピュータ

『射出シマス。』

ドシュ!

M

「……………」

——どうか、幸があらん事を……………。——

元神魔王リリカルなのは外伝

《ロストボイストラベラーズ》

E p i s o d e | 2 . 5 |——冒険——

Episode 2. 5..ストーリー3【人のナガレ、オトシ】

——藤見町、通路——

とぼとぼ

フウ……。

ユーノ

「疲れた……。」「

は……。」「

ユーノ

「なのほも、ガンバリすぎだよ……。」

確かに、アーチャー……いや、ジロウが死んで……。」

このクソねずみいいいいいい！！

ギリギリギリギリ

うん！

ユーノ

「見なかった事にしよう！」

トコトコ

ユーノ

（きつと疲れてるんだ……。

なのはと模擬戦やったから……。）」

ピタッ

だけど……。

——彼女欲しいよ——！！——

Episode 12.5 ストーリー4 街角のアノコ

——藤見町、通路——

トコトコ

ユーノ

「もう少しで、なのはの家に……。」「

ドン！

ユーノ

「わっ！？」

少女

「きゃっ！？」

ドスン！

イテテ……。。

ユーノ

「だ、大丈夫？」

少女

「う、うん……。」

あ！そうだ……。

ユーノ

（ジロウ……と言うか、アーチャーだったら……。）

コホン

ユーノ

「その、君！大丈夫かね？」

私が、手を貸してあげよう！！」

きゅぴん

スッ

少女

○

ユ
ー
ノ
$$\begin{array}{c} \top \\ \vdots \\ \circ \\ \perp \end{array}$$

少女

⌈
⋮
∘
⌋

ユ
ー
ノ

⋮

少女

「……なにそれ、気持ち悪い。」

ユ
ー
ノ

「! ! ! ! ? : ? ? ? ?」

が
び
ん
!!

——これがボクと彼女の初対面——

Episode 12.5 ストーリー5『乙女のトレイン』

——藤見町、通路——

は……。

ユーノ

「気持ち悪い、か……。」

あははははは

少女

「ごめんね……あんまりにも“気持ち悪かったから”……。」

ブシュ

ユーノ

「はぐう!?!」

——言葉は、剣となり、刃となる——

ユーノ

（だ、大丈夫だ……ボ、ボクは……なのはの練習相手を、勤められるんだぞ！ハーフデバイスの使い手なんだぞ！）

あ！

日向

「名前、言って無かったね？

私、日向！“早乙女・日向”！……貴方は？」

ユーノ

「ボクは……。」

ピュウウ……。

グラッ

ユーノ

「おっと……！」

日向

「！イヤヤヤアアアアアアア！！」

日向
「あ！」

ドカ！

日向
「や！」

ドカ！

日向
「い！」

ぐるん

ガス！

ユーノ
「へ？」

ザッ

ドカ！

日向

「あああああああ！！」

ドカン！！

ユーノ

「ぶぺら！？」

ヒュウウウウウウ……。

ドツカアアアアアアアン！！

ゲーマー

「……………」

ジ〜〜

——ここから、たまたま現場にいた、ゲーマー……リュウさん（3

3才)からの、
コメントを頂きました。――

リュウ

「いやー!! 凄かったですねー!!」

バツ

リュウ

「まずは、足ばらい……。」

ザッザッザッ

リュウ

「その後の空中の、激! 激! 激!」

ズイ!

リュウ

「ラストなんて、サマーソルトかましていましたよ?
ただ者じゃないでしたね!!」

——以上、現場にいたリユウさん（33才）のコメントでした……。

パラパラ

ユーノ

「ボ、ボクは……。

カラダはケンで……。

デキテいない……。」「

ガクウ……。。

Episode 12.5..ストーリー5『乙女のトレイン』(後書き)

——早乙女・日向——

「さおとめ・ひなた」

早乙女家の一人娘にして、ミキヤの姉……。

ユーノの関係は、のちほど

スパロボOGのアイビスの姿で……ペルソナ4の里中千枝格好

性格は、シツカリ者だが……。

恥ずかしくなると、暴走して殴る蹴る(男性限定)。

料理もダメ、爆発する(ミキヤ談)。

以下、格好

上——緑ジャージ

下——スパッツ&ショートスカート」

Episode | 2. 5..ストーリー6【知らぬ天井のユエニ】

——一軒家、個室——

ボク……。

知らない天井……。

ユーノ

「知りたくもない、天井だ……。」

むく

ユーノ

「あつつつ……ここは？」

キヨロキヨロ

ユーノ

「確か……ボクは……日向って子に……。」「

——ぬうわああにいいいい！！男だとおおおおおお
！！——

ドッカアアアアアアン！！

ユーノ

「な！なんだ！？」

ド……ドスン……ドスン！ドスン！ドスン！ドスン！

う……わ……。

ユーノ

「き！」

——きたあああああああ！！——

Episode 12.5 ストーリー7【はじめましてのデストロイヤー】

——一軒家、個室——

ガラ！！

明らかに人相の悪い男

「……………」

ギロリ

ガクガクガクガク

ユーノ

（な！なんだ！？このコワモテは！！）

金髪の親子でもない限り、殺されてしまうような殺気は！！（！）

創

「ようう…………オレはあ、早乙女え…………創え…………。」

ゴオオオオオオ…………。

ゴク

ユーノ

「ユ、ユーノ・スクライア……。」

ズイ！！

ユーノ

「ひ！？」

創

「ユーノ……。か……。」

ユーノ

「は、はひ……。」

ガタガタガタガタ

創

「ひ・な・た・にい……。」

ゴゴゴゴゴゴゴゴ

ビクッ！

ユーノ

「へ？」

――手を出したのはてめえええええかあああああああああ！
――！

ドツカアアアアアアアン！！

ユーノ

「うあああああああああああああああ！？」

Episode 12.5: ストーリー7【はじめましてのデストロイヤー】

——早乙女・創——

「さおとめ・はじめ」

早乙女家の父

バルバドスの姿に、バンダナと髪を真っ赤にした感じ

性格は、バルバドス、戦闘になると瞬時に……。

——バルバド“ル”——

に、なる

※改良されたファスナー付きの、専用バトルコスチューム（もろバルバドス）。

ミキヤが作った（作らされた）。

以下は、普段着

上——白タンクトップ

下——ジーパン

Episode 12.5 ストリー8 【和室、そのアイサツ】

——早乙女家、和室——

ユーノ

「くっ……。」

日向

「大丈夫？父さんには……。後で、きつく言っておくから!!」

チラッ

ジッ

創

「……………」

ゴオオオオオオオ……。

バッ

ユーノ

(見てる！コッチ見てるよ！！！)

——ユーノ……目を閉じろ……。——

ユーノ

(え！？誰だ！！！)

——気持ちを……落ち着かせるんだ……。——

ユーノ

(な、なんだ……この声……。)

ミキヤ

「そう……オマエは……。」

スパン！

ミキヤ

「アイタ！」

アリシア

「なに、やってるの？ ミキヤは……。」

ミキヤ

「だって……。」

アリシア

「もー！」

日向

「あ！ アリシアー！！……あと、ミキヤ。」

ズル

ミキヤ

「な、なんだよそれ……。」

日向

「アナタみたいな人は……。」

この程度が、ちょうどいいですよ……だ！」

イ………

フッ

ミキヤ

「やれやれ……。」

ユーノ

「あ！アナタは……。」

ミキヤ

「オレ？オレは……。」

——コクトウ……コクトウ・ミキヤだ——

Episode 2.5 ストーリー9【お口の中のベリーベリー】

——早乙女家、和室——

創

「……………」

ゴゴゴゴゴゴゴゴ

ビクッ！

ユーノ

「ま、まだ見ている……………」

はぁ……………」

ミキヤ

「まあまあ、オレとアリシアに免じて、ね？
“メロン”も持ってきたし……………」

ピク

創

「ソイツはあ、“ベリー”なあメロンかあ？」

ユーノ

「うん？、ベリーなメロン？」

あゝ……。

ミキヤ

「上等なメロンかって、事でしょう。
間違いなく、ベリーですよ？」

創

「む！、そうかああ！！」

日向

「じゃあ、私……切ってくる。」

アリシア

「わたしも……！！」

トタトタトタトタ

創

「……ベリーなあメロン……。」

じゅる

ユーノ

「……あの人、何時もあんな感じ？」

ミキヤ

「うん！あんな感じ！」

は〜……。

ユーノ

「……疲れた。」

ミキヤ

「ウンウン、その気もち……。わかるから……。」

ユーノ

「そういえば、今何時？」

ミキヤ

「時間？ほら、もう……。」

ユーノ

「え？」

カチコチ

――7.59――

ボーン、ボーン、ボーン……。

ミキヤ

「あ、8時になった……。」

ユーノ

「しっ……。」

――しまったあああああああ！――

ユーノ

「おじゃまりましたー!!」

ぴゅーん……。

日向

「あ……!」

ボタン!

日向

「…………。」

——ベリーなメロンは?——

Episode 12.5 ストーリー10【次ぎのヒ、ニテ】

——早乙女家、和室——

は〜……。

ミキヤ

「どうしたかね？ 迷える、青少年君！」

フツ

ユーノ

「アンタか……何しにきた！」

ミキヤ

「オイオイ……いきり、ソイツはゴキゲンだな……。 」

フン！

ユーノ

「当たり前だろ？ あんなに遅く……なのはやフェイトにまで、心配かけてしまった……。 」

バッ

アリシア

「なにになに？ 恋ばな？」

——金髪——

ユーノ

「今は、その顔……見たくない。」

な！？

アリシア

「何よそれ！ 信じらんない！！」

ドスドスドスドス……。

あゝあ……。

ミキヤ

「いいのか？あんなこと言って……。」

ユーノ

「イイよ別に……。」

ミキヤ

「は……。」

——コイツは、難儀だな……。——

Episode | 2. 5..ストーリー11【夢のトラベラー】

——ある国、個室——

ギイイイイイ……。

ベーオウルフ姉さん……。

ウルフ

「その呼び方キライ！」

ルシファア

「わ、悪かったよ……。

ルシファアの名において、その名前は言わないよ……。
ウルフ姉さん。」

ウルフ

「そういえば、サタンは？」

あ……。

ルシファア

「アイツ？アイツはー、また……どっかに……。」

ボタン！

サタン

「じゃんじゃじゃん！！サタンさまの、おとくりだー！！」

ウルフ

「サタン！！」

は……。。

ルシファー

「サタン……。」

——死ね——

な！？

サタン

「いきなり、死ねとは！てめーに、ヒトのココロは、ねーのか！！」

ないな！

ルシファー

「オマエにはな……。」

コノ！

サタン

「姉ちゃんの、前だからって……。！」

フン！

ルシファー

「姉さんの、前だからだ……。！」

ウルフ

「まあまあ……。」

——わたしは、ユメを見る——

バカ！

お前こそ馬鹿だ！

——誰かのユメ——

フフッ

——楽しかった、
“ユメ”——

Episode 2.5..ストーリー12【夢見、そして後のカクゲ】

——早乙女家、和室——

カプコーン！バーサース！エス！エヌ！ケイ！

ユーノ

「で、ボクに相談……つと。」

カチャカチャ

日向

「うん……時々見る夢……。」

どうしたあ！

ユーノ

「うーん……ボクも夢は、見るけど……。」

その首……かつ切る！！

——メガ・サイコクラッシャアアアアアアアアアア！——

このままでは、終わらんぞ～～～！！

ケー！オー！

ミキヤ

「クソ！負けた……。」

死をくれてる！！

創

「死をくれてやる！！」

ミキヤ

「チッ！リンクしてんじゃねえ！！」

ぶるあ！！

創

「こんなモノではあ！オレのーかあわあきいはあ……………」

——癒えねぞおおおおおおおおおおお！——

ミキヤ

(コイツ……！やりこんでる……！)

ユーノ

「……君のお父さん……強いんだね……。」

うん！

日向

「何故か、あのキャラにこだわっているんだよねー。」

ミキヤ

「ツシヤア！次ぎだ……！」

ラウンド1

創

「さあ、見せてもらおうか！
キサマのものがきとやらを！」

——
ファイ!!
——

Episode | 2. 5..ストーリー13【混沌のハジメマシテ】

——藤見町の夜、通路——

タッタッタッタ……。

ハーツハーツハーツ

日向

「遅くなっちゃった！」

ズ……。

タッタ……。

クル

ヒュウウウウ……。

日向

「んゝ……。」「

うん！

日向

「急ごう！」

タッ

ズズッ……。

クル

ヒュウウウウ……。

日向

「まさか……。

テレビみたいな事……。」

あは

日向

「ないよね〜！」

そうだね〜！！

日向

「うんうん！ないない！」

ねえーな！

日向

「ん？」

ん？

バッ

日向

「アナタは……だれ？」

スコープアイの男

「オレさま？……オレさまは……。」「

バ
ッ

――残虐非道の、クレイジーリッパーさまだ!!――

Episode | 2. 5..ストーリー14【困惑のコントン】

——藤見町の夜、通路——

リッパー

「ヒャーッハッハッハッハ！」

日向

「なあゝに？ その高笑い……。」

あゝん？

リッパー

「いやゝ、ヤッパリー……。」

オレさまつったら“コレ”かなゝって！」

日向

「楽しい？」

リッパー

「無論だ！！」

日向

「ヒヤーツハツハツハツハ！！」

ヒュウウウウ……。

リッパ―

「なにしてんだ、テメー……。」

だって……。

日向

「楽しいって、言うから……。」

は……。

リッパ―

「マジでオレ……。」

日向

「ん？」

——こんなの相手にすんのか……！？——

Episode | 2. 5..ストーリー15【牙のムキダシ】

——藤見町の夜、通路——

リッパー

「なあー、姉ちゃん……。」

オレと、一緒に“イ”こうぜ……。」

プイッ

日向

「“イ”やです！」

リッパー

「まー、そう言わずに……。」

ガシッ

日向

「!?!」

へ？

イヤヤヤアアアアアア！！

ブン！！

うあっ！とと……。

リッパー

「あつぶね……何しやがる！！」

日向

「ア、アナタがいきなり！掴んできたからでしょう！！」

チッ！

リッパー

「まあいい……。」

ゴソ

スッ

日向

「え？キーホルダー？」

リッパ

「どーせデメーを、“ぶっ殺す”からなく……。」「

え？

日向

「こ…ろ…す？」

バッ

リッパ

「D—アームズ！」

——セットアップ！——

Episode | 2. 5..ストーリー16【友人のスイサン】

——藤見町の夜、通路——

タッタッタッタ！

日向

「ハーツハーツ……。」「

アームガン！

リッパー

「そらそら〜！〜！」「

ドン！ドン！

日向

「きゃっ！？」

ドカン！ドカン！

リップー

「ま、仮にもー、オレさまの“お姉ちゃん”だし……。
念のためって事で……。」

ガチャ

日向

「ひ!？」

――しゝにゝ……な!――

ドシュ! ドシュ!

リップー

「に!？」

バツ

ドド!

日向

「矢?」

チッ！

リッパ―

「誰だ！！オレさまの楽しい事を、邪魔するヤローは！！」

ザッ

大丈夫？日向……。

ニコッ

日向

「あ……。」

――ユーノ……。――

Episode | 2. 5..ストーリー17【締まらない登場、そのコクチ】

——藤見町の夜、通路——

ヒュウウウウ……。

——電柱の上——

ユーノ

「ダメじゃないか……。

こんな夜、一人で歩いちゃ。」

日向

「ユーノ……。」

ん？

日向

「なんで、電柱の上？」

あ、あはは……。

ユーノ

「その、“ある人”の……まね、なんだ……。」

ふうん……。

日向

「変。」

ブスッ

ユーノ

「はぐっ!?!」

ジロウ……ボクは、君には……なれなかったよ……。

キラキラ

元神魔王リリカルなのは外伝
《ロストボイストラベラーズ》

完

バッ

ユーノ

「イヤ！そのネタ、前にやったから！！」

※元神魔王リリカルなのは外伝

《デルタソウルダイバース》

Episode — 1 — 起源 —

参照

日向

「みんな！見てね？」

ユーノ

「……………」

日向

「ん？ただの告知だよ？」

ぽっん

リッパ

「おい……。」

——オレさまは——？——

Episode | 2. 5..ストーリー18【夜のロジョウファイト】

——藤見町の夜、通路——

リッパー

「オラオラ〜！」

ガン！ガン！

ユーノ

「ナメるな！」

ドシュ！ドシュ！

リッパー

「おっと……！」

バツ

ヒュンヒュン

ユーノ

「くっ……！」

バッ

ドカンドカン

へっへっへっ……。

リッパ―

「ただのアマチャンかと思ったが……ヤルじゃん！」

フン！

ユーノ

「オマエなどに、誉められても……！」

クククッ

リッパ―

「あらら……。」「

でも……。

バツ

日向

「え……。」「

ユーノ

「な!?!」「

リッパ

「こーゆーところが!」「

ヴァン

——アマチャンなんだよ!!——

Episode | 2. 5..ストーリー19【歩き出す、そのタビジ】

——藤見町の夜、通路——

ピシャー

ドゴオオオオオオオオオオオオン！！

リップー

「ぐはあああああああ！！」

ユーノ

「コ、コレは！……雷？」

フフッ貸しだよ？日向……。

スッ

日向

「え？」

キヨロキヨロ

ピッ
ピッ

うん？

日向

「何処から？」

ピッ
ピッ
ピッ
ピッ
ピッ

スッ

日向

「耳から……。」「

ピッ

ヴァン

日向

「きゃっ!?!」

——ダウンロードについて——

〔非常事態!今は、簡単に書く……。〕

“コレ”をセットアップするんだ!サア!早く!!”

日向

「え!え!!!」

チキチキチキチキ

日向

「コレって……。」

ちつきしょく……。

リッパ

「伏兵か?とにかくく……。!」

——ブッコロス!!!——

バツ

ユーノ

「くっ！また……！」

バツ

リップー

「ウゼエエエエエ！！」

ドカ！

ユーノ

「ぐはあ……！」

ヒューン！

ドカン！

ユーノ

「が……？」

ヒヤーツハツハツハツハ！！

リッパー

「いっただつきまゝす！！」

グッ

日向

「……。」

ヴァン！

ドクン

ユーノ

「日向！！」

ドクン

日向

「パイルバンカー・アルト……。」

ド・ク・ン

——…セッ
トアップ…
…！——

Episode | 2. 5..ストーリー20【日向のハーフデバイス】

——藤見町の夜、通路——

ドカン！ドカン！ドカン！

カランカラン……。

リッパー

「ぐばぁ！？」

日向

「…………。」

ユーノ

「これ……は……。」

ピピッ

日向

「あ！また！！」

——パイルバンカー・アルトについて——
「プロトタイプ・パイルバンカーのカスタマイズ。

“ギアホーン”
スライド式バイザーの折りたたみ発熱型ホーン、バイザーオン、オフで開閉可能

“ドリルステーク”
大型マガジン連続装填式のドリル付きステーク

“ハンティングバスター”
ショットガンアーム、連射が出来るが射程が短い

“ラウンド・クレイモア”
ラウンド・セルと言う、ハーフデバイスの失敗作を流用。
背中のバックパックブースターに、両肩にチタン製の弾丸

以上

ふむ……。

日向

スウウウウウウウウウウ！！

バツ

リッパー

「ストライクアクセレーション……。」

ガキーン！

日向

「うん？ 左外して、右に？」

ハッ

ユーノ

「日向！ 逃げるんだ！！」

日向

「……………」

リッパー

「ヒャッハッ！」

Episode 2.5..ストーリー21【零距离のドリルスTEEク】

——藤見町の夜、通路——

ヒヤツホオオオオオオオ！！

ドゴオオオオオオオ……！

ユ
ー
ノ

「うあ！？突っ込んできた！！」

ザ
ツ

日向

$$\vdots$$
ユ
ー
ノ

「日向！！」

足りない……。○

日向

「ぶち抜け!!」

ゴオツ!

ドリル!

ギイイイイン!!

——ステエエエエエエエク!!——

ドコオン!!

リッパー

「が!?!」

日向

「いっけええええええええええ!!」

ドコオンドコオンドコオンドコオンドコオンドコオンドコオンドコオンドコ

オンドコオンドコオンドコオンドコオンドコオンドコオンドコオン
ドコオンドコオンドコオンドコオンドコオンドコオン！！！！！

日向

「…………。」

しゅぅぅぅぅぅぅ

カランカランカランカラン…………。

リッパー

「じ…………ぐ…………じょ…………う…………。」

ドサツ…………！

ユーノ

「クロス…………カウンター…………。」

日向

「どんな存在でも…………。」

——ぶち当たるのみ！——

Episode 2.5 ストーリー22【混沌のトウソウ】

——藤見町、町外れ——

ヒュウウウウ……。

ユーノ

「……じゃっ、いくよ?」

日向

「うん……はじめて!」

——過去藤見町の夜、通路——

ユーノ

「た、倒した……?」

日向

「うゝん……。」「

ヒヤッハッ!!

ぴょん

ユーノ

「あ!？」

日向

「生きてる!!」

ヒャーッハッハッハッハ!!

リップー

「後ろもーチョイ……だったのにな……。」

日向

「死んだフリ!!」

そう!!

リップー

「数々あるオレさまの……。」
「ヒミツ技?」

バッ

日向

「あ！」

ユ一ノ

「逃げる気か!!」

あゝん？

リツパー

「そうよー……流れも、ダメージも……悪いし。」

ほんじゃ

——ばっはは~~~~い!!——

Episode | 2. 5..ストーリー23【爆発のユーノ】

——過去藤見町の夜、通路——

くそ！

ユーノ

「逃げられた！！」

日向

「でも、ダメージは負わせたし……。」

は……。

ユーノ

「ダメダメ、あーゆーのは完全じゃないと、ダメなんだよ……。」

そ・れ・よ・り

日向

「なくに？ユーノ……。」

ユーノ

「さっきのは、何？」

日向

「何？って、クロスカウンター……。」「

なぜ……。

日向

「なぜ？」

ユーノ

「なぜ、あんな、危険な、ことを……。」「

日向

「うん？」

——したんだあああああ！！——

ドッコオオオオオオオオオオオン！！

――うっひやあああああああ！？――

Episode 12.5..ストーリー24【日向のモギセン】

——現在藤見町、町外れ——

スッ

ユーノ

「シルヴァンボウ……。」「

ザッ

日向

「パイルバンカー・アルト……。」「

——セットアップ!——

ガシャン!

日向

「はあああああああ!。」「

ゴォッ！

フフッ

ユーノ

「確かに早い……だか！」

バッ

日向

「え？消えた！？」

――木の上――

ユーノ

「ここだ！！」

ドシュ！

日向

「え……きゃっ！？」

カァン

ユーノ

「どうした！リッパーの時はもっと、凄かったぞ！！」

ザッザッザッ

くう〜……。

日向

「早すぎるぅ〜！！」

ドシユ！ドシユ！

くうっ………！

ゴオオオオオオオ……。

ドド

ユーノ

「そろそろー!!」

ドシュ! ドシュ! ドシュ! ドシュ!

日向

「ナメるな! ハンティングバスター!!」

ドシュ! ドシュ! ドシュ! ドシュ!

Episode 12.5: ストーリー25【音速のマジュツシ】

——藤見町、町外れ——

バツバツバツ

ドシュ！ドシュ！ドシュ！

日向

「この！この！このお！」

ザッ

ユーノ

「甘い、甘いぞ日向！！」

ドシュ！

日向

「くっ！」

カーン

ユーノ

「まず、フェイント……そして!!」

ババババババ

ザッ

ババババババ

ザッ

ババババババ

日向

「キヤアアアアアアアアア!」

ドゴオオオオオオオオオオン……。

ユーノ

「と、この様にヒット&アウェイを……………」

ぐるぐる

日向

「ぎゅう……………」

えーっと……………」

ユーノ

「やり過ぎちゃった……………」

Episode | 2. 5..ストーリー126【甦るあのキオク】

——藤見町、町外れ——

イテテ……。

ユーノ

「大丈夫？」

日向

「うん、何とか……。」

ゴメン……。

ユーノ

「チョット、飛ばし過ぎた……。」

ウウン

日向

「わたしも……。」

それより、ユーノは強いね？」

ああ……。

ユーノ

「前にも言ったとおり、“ある人”を……追いかけているんだ……。」

ふうん……。

日向

「その人は？」

ユーノ

「……。」

ハッ

日向

「ゴメン……。」

ユーノ

「いやいいんだ、アイツは……アイツだって……。」

ヒュウウウウ……。

——そんな事、望んじやいない……。——

Episode 12.5 ストーリー27【母の……参!上!】

——早乙女家、和室——

バン!

女性

「はじめまして、ユーノくん!!」

ズン!

ユーノ

「は、はあ……。」

にゅっ

ミキヤ

「説明しよう……。」

彼女は、“早乙女・朱里”さん、日向の母親だ!

ビクッ

ユーノ

「わぁ!？」

うん?

ミキヤ

「どうした? 悩める青少年!!」

ユーノ

「アンタがいきなり、“にゅっ”って出できたからだろ!!」

ミキヤ

「あゝ…そりゃ、失敬。」

あの……。

ユーノ・ミキヤ

「はい？」

朱里

「早乙女家って、何処ですか？」

——はあ！？——

「……………」。
ミキヤ

「……………」。
ユーノ

「……………」。
ミキヤ

「……………」。
ユーノ

「……………」。
ミキヤ

「……………」。
ユーノ

Episode 12.5: ストーリー27【母の……参!上!】（後書き）

——早乙女・朱里——

「さおとめ・あかり」

早乙女家の母

テイルズのグリユーネまんま

性格は、ポワンとしている。

方向音痴（極度の）で三日に一回、家に帰れればいいほう。

以下、格好

上——トレーナーに、ネコのワッペンが付たエプロン

下——茶色のブカブカしたロングスカート」

Episode 12.5 ストーリー28【再びのデストロイヤー】

——早乙女家、和室——

朱里

「で、あの人が……。」

ぽー

ミキヤ

「なんで、トリップしてる。」

ユーノ

「知らない、早乙女はここですって言ったら、ああなった。」

朱里

「きゃーー！」

ミキヤ

「……。」「」

ユーノ

「……。」

——は……。——

ドスン……ドスン……。

ミキヤ

「う、この……！」

ユーノ

「足音は……!?」

ドスン！ドスン！ドスン！ドスン！ドスン！

——ああああああああありいいいい！！——

ミキヤ

「お。」

ユーノ

「おお。」

——おいでなすったあああああああああああ！？——

Episode 12. 5..ストーリー29【逆さ吊るしのケイ】

——早乙女家、和室——

ギチチ

日向

「ぶくらん、ぶくらん。」

ユーノ

「……。」

アリシア

「あはは！吊るしでんきゅー！」

ミキヤ

「……。」

キヤハハ！！

ぐっ

ユーノ

「わ、笑ってないで……お、おろしてよ……。」

やくだもくん

アリシア

「だって、見たくないんでしょう？私の顔……。」

ユーノ

「そ、それは……。」

チツ！

ミキヤ

「意地、はってね〜で謝れ！！」

じゃないと……頭に……血が……ヤバ……。」

くうっ……！

ユーノ

「ご、ごめん……。」

プイッ

アリシア

「愛がない！」

日向

「そう！ない！」

ミキヤ

「ユ、ユノ……。」

ユーノ

「わ、解っているよ……！」

ミキヤ

「オレも、謝るから……。」

アリシア

「うん！」

日向

「じゃあ、二人ともだね？」

ユーノ

「……。」

チラッ

ミキヤ

「……。」

チラッ

コクン

ユーノ・ミキヤ

「せいの……。」

——ごめんなさい……。——

Episode | 2. 5..ストーリー30【母親とあのケンカ&カレ】

——早乙女家、和室——

フウ……。

ユーノ

「助かった……。」

ミキヤ

「オレはマダ……頭に血が……。」

バツ

ユーノ

「だいたい！ミキヤが！創さんの話の途中で寝るから！！」

フン！

ミキヤ

「お前だって、コックリさん…してたじゃねえか！」

——コラ!——

ビクッ

ユーノ・ミキヤ
「!!」

朱里

「ケンカしちゃって……ダメでしょう?」

ユーノ
「でも!」

ミキヤ
「しかし!」

朱里

「……………」

う…………。

ユーノ・ミキヤ
「ごめんなさい。」

朱里
「よし！」

じゃあ……。

朱里
「わたしが、何かご飯……。
作ってあげるね？」

あ！

ユーノ
「ボク！手伝います！」

うーん……。

ミキヤ
「何か……。忘れてるような……。」

はて？

あゝ！朱里さんカレー粉、忘れてますゝゝ！！

あらあら

ココで、日向……参！上！

あ…………。

あら…………。

ちゅどおおおおおおおん！！

ミキヤ

「…………。」

ぽゝ

——今日も天気だ……。——

Episode | 2. 5..ストーリー31【町外れのケンキュウジョウ】

——藤見町の町外れ、研究所門前——

ココが……。

日向

「指示のあった、場所……。」

ピピッ

——ある場所について——

「突然だけど、日向には行ってもらいたい場所があるんだ。

研究所……とだけいっておこうかな？

数ある研究所の一つなんだけど……。

君には、その一番近い場所……藤見町の研究所に行ってもらおうと
思っ……。」

ヒュウウウウ……。

日向

「こんな所に研究所……町外れとはいえ、前には無かったのに……。

」

カツカツ

ヤッパリ……ついてきて、正解だった……！

日向

「あ！ユーノ！？」

ユーノ

「あ！じゃないだろ！？」

は……。

日向

「あ、あはは……。」

ユーノ

「で？どうして、こんな場所に？」

うーんと

日向

「ある、独自の“裏ルート”からえた情報で……。」

ユーノ

「どうせ、ネットとかの町の七不思議の様なモノ……だろ？」

日向

「ま、まっね！」

ユーノ

「でも、行くんだろ？」

うん……。

日向

「何となく……何となくだけど、行かなきゃいけない……。
そんな気がする……。」

ユーノ

「しよーがない……ボクも、ついて行くよ。」

日向

「ユーノ!？」

ユーノ

「どうせ、止めたって行くんだろ？」

日向

「うん……。」「

じゃっ

うん！

——行こう！！——

Episode | 2. 5..ストーリー32【通路でのカイワ】

——研究所、通路——

カッーン、カッーン

日向

「誰も……いないのかな？」

ううん……。

ユーノ

「施設を見る限り、つい最近まで使われていた……。
そんな、感じがする。」

ん？

日向

「解るの？」

ううん

ユーノ

「勘。」

は〜……。

日向

「わかんないんじゃないん……。 」

でも……。

日向

「でも？」

ユーノ

「こうゆうのは、結構馬鹿に出来ない。」

ふ〜ん……。

日向

「そうゆうモノ？」

ユーノ

「そうゆうモノ！」

カッーン、カッーン

あ！

日向

「扉だ！！」

Episode 2.5 ストーリー33【中央のカプセルルーム】

——研究所、カプセルルーム——

プシュー

お！

日向

「研究所ぽい自動ドア！」

は〜……。

ユーノ

「遊んでないで……。 」

ぶー

日向

「解っているよ〜〜！〜！」

コツコツ

ユーノ

「ここは……カプセルルーム？」

日向

「ユーノ！！」

ユーノ

「どうした！！」

タッタッタ！

日向

「これ……。」「

ユーノ

「……。」「

ピッピッ

日向

「ユーノ……動かせる？」

うゝん

ユーノ

「このコンピュータは……。」

ピッピッピッピッ

ユーノ

「うん！何とか動かせる……！」

ヴァンヴァンヴァン

日向

「あ！これ……！」

ユーノ

「……どれ？」

日向

「ほら！ここ……！」

ユーノ

「これは……。」

——日記……？——

Episode 12.5..ストーリー34【日記のナカミ】

——研究所、カプセルルーム——

ピッピッ

——ブツコロし成功!!——

「ヒャーッハッハッハッハ!!」

して、殺ったぜ! ガキンチョと、ババア!!
特別ボーナスで、シリーズ03も殺った!!」

日向

「コレは……。」

うん!

ユーノ

「この前会った、あの変態だ!!」

ギリ

日向

「ユーノ……。」

フウ……。

ユーノ

「解っているよ……続き。」

日向

「う、うん……。」

ピッピッ

——リサイクル!!——

「せっかく、ボーナスもらったんだ……。活用しないとな!

で、コイツのコピーを作る事にした!!」

ユーノ

「コピー?」

——リサイクル!!——

「“アイツ”に頼んで、作った!

元々、レイギュラーズだし……。。

も～～～まんたい!!
ま、所詮…量産型だから…干将・莫耶と、天羽々弓しかコピレ
ないけどな!!」

日向

「人の量産って…。」

——リサイクル!!——

「あんまりにも、ヘボいんで試作品に、1号、D—アームズ&2号、
D—レックスを持たせた!

名前も“量産型03”じゃなく、“レッド”くんにした!勢いで作
ったけど…。

ま、なんかに使えるだろ!

ヒャーッハッハッハッハ!!」

Episode 12.5 ストーリー35【怒りと、そのエイゾウ】

——研究所、カプセルルーム——

ユーノ

「くそ！」

バン！

日向

「ユーノ……。」

ヴィーン！ヴィーン！ヴィーン！

ユーノ

「な！？何だ！！」

ヴァン

——じゃんじゃじゃん——！！——

日向

「あ!！」

ユーノ

「変態!！」

リッパ

『とう研究所を、見学しに来たお客様……。まゝこゝとくに……。ありがとうございます!』

――で!――

ジャジャン!

リッパ

『コレから一つ、ゲームをしたいと思います!』

ユーノ

「……。」

――ゲーム?――

リッパ―

『知ってのとうり、試作品は二体あります！
まず此処に、そして別のカプセルルームに……。』

ち・な・み・に

リッパ―

『このゲームを降りることは、出来ません。
しないで出口から、出ようとする……。』

ボン！！

リッパ―

『って成ります……。よくありますよね？
ちなみに、この映像はリアルタイムではないので、文句、罵倒は受け付けません……。』

じゃっ！

リッパ―

『ガンバって下さいね〜！！』

——アハアハアハアハアハ！——

Episode 12.5 ストーリー36 【研究所のゲームスタート】

——研究所、カプセルルーム——

ヴィーン！ヴィーン！ヴィーン！

プシュー

日向

「わっわっわ!？」

ユーノ

「落ち着いて!とにかく……!」

日向

「う、うん!」

バツ

——セットアップ!——

ガシャン！

むくっ

レッド1号

「……。」

日向

「出できた〜！」

レッド1号

「Dーアームズ、セットアップ。」

ガシャン！

レッド1号

「アームガン。」

ドシュ！ドシュ！

チッ！

ユーノ

「問答無用か!!」

バツ

ドカン!

日向

「バイザーオン!」

カシャン

日向!?

ユーノ

「チツ!」

ドシュ! ドシュ! ドシュ!

日向

「おおおお!!」

ゴォッ！

日向

「喰らえ！」

ヒイイン……。

——ギアホーン！——

レッド1号

「左腕、アームシールド。」

ヴァン

バチ！

日向

「！？」

レッド1号

「右腕、アームブレード。」

ヴァン

日向

「くっ……！」

ザ
ツ

ユ
ー
ノ

「させる……。」

— — かあ!! — —

ドシユ！ドシユ！ドシユ！ドシユ！ドシユ！ドシ
ユ！ドシユ！

レッド1号

「退避。」

バツ

ドゴオオオオオオオオン……。

Episode 12.5 ストーリー37 【戦闘のハザマ】

——研究所、カプセルルーム——

ゴオオオオオオオ……。――

日向

「やった！」

うゝん……。――

ユーノ

「どうだろ？」

ドシュ！ドシュ！

日向

「わ！？」

ユーノ

「ヤッパリ！！」

レッド1号

「シューティンググアクセラレーション。」

ガキイン

日向

「前の!？」

ユーノ

「違う! コレは……!」

ギイイイイン

レッド1号

「バットエンドショット。」

ドシューウウウウウウ!!

バツ

ユーノ

「くっ……!!」

ゴォッ!

日向

「!!」

ゴォォォォォ……。

あ……。

日向!?

——わたし……。——

Episode | 2. 5..ストーリー38【再びのユメ】

——広い空間——

ギギギギギ

日向

「ここは、前にも……。」

うん？

男

「君は……。」「

あ！

日向

「貴方は！？」「

フム

男

「ここは、そう簡単に……。」

ハッ

男

「そうか!! 君は!!」

あのゝ

ルシファー

「あ!……すまなかった、一人で……。
名前、言って無かったね?
私は……ルシファーだ。」

日向

「ルシファー……さん。」

あはは!

ルシファー

「ルシファーでいいよ。」

「……私の姉であるし……。」

え？

ルシファー

「おっと……！」

これは、ヒミツヒミツ……。」「

日向

「？」

ルシファー

「とにかく！君は今、ひじょうに……ピンチ！！」

は、はあ……。」

ルシファー

「で、君はそのピンチを乗り切る力がある！！」

日向

「力……。」

ゴォーン、ゴォーン、ゴォーン……。

ルシファー

「あとは……。」

あ！

ゴォーン、ゴォーン、ゴォーン……。

ルシファー

「き……み……。」

また……。

ゴォーン、ゴォーン、ゴォーン……。

——姉さん……。——

Episode | 2. 5..ストーリー39【新たな力、そのケツイ】

——研究所、カプセルルーム——

ピピッ

ボイスレコードシステム、正常ニ起動シマシタ

ゴオオオオオオオ……。

日向

「あれ？確か……わたしは……。」

ピピッ

——ボイスレコードシステムについて——

〔言葉を記録し、実現するシステム。〕

今現在では未完成ながら、以下が使える。

攻撃力を上げる“力の言葉”

防御力を上げる“勇気の言葉”

魔力を上げる“知の言葉”

体力を回復する“愛の言葉”

以上」

日向

「じゃあ……わたしは……。」

タッタッタッタ！

ユーノ

「日向！？大丈夫！！」

日向

「うん……。」

ピピッ

日向

「また……。」

——ゼフィスロストピースについて——

〔此処に、オレが知っている事を書く……。そのピアスの名前は、ゼフィスロスト。〕

正式名は“ゼフィランサスロストピース”

——清い愛——

データや通信……。ネットにも繋げる優れモノだ。〕

日向

「ゼフィス……。清い愛……。」

ガチャ

レッド1号

「目標の再起動を確認。」

くっ……。！

ユーノ

「日向!!」

大丈夫!

ユーノ

「え?」

日向

「わたしは、もう大丈夫だよ? ユーノ……。」

そう……。

——もう大丈夫……。——

Episode 12.5 ストーリー40【変わりつつある、そのコロ】

——研究所、カプセルルーム——

レッド1号

「アームガン。」

ドン！ドン！ドン！

ユーノ

「またか！！！」

ドシュ！ドシュ！ドシュ！

ユーノ……。

ザッ

ユーノ

「なに！！！」

日向

「サポート、お願い。」

ユーノ

「無理だよー!! 今の日向に……!!」

ガシッ

日向

「ユーノ……お願い……!!」

グッ……。

ユーノ

「……。」

日向

「……。」

ユーノ

「…………。」

日向

「……………」

ユーノ

「……………」

日向

「……………」

フウ……………」

ユーノ

「解っているよ……………」日向が、頑固だってさ。」

日向

「ユーノ!!」

ガバツ

ユーノ

「わ!わ!日向!?!」

ん？

日向

「あれ？私……男の子に……。」

アームブレード

ヴァン

日向

「あっと！」

バツ

ユーノ

「うあ！」

バツ

レッド1号

「……。」

ヴウウウン……。

日向

「油断は禁物……だね！」

ユーノ

「う、うん……。」

すーはー

日向

「……よし！」

グッ

ユーノ

「……。」

ジッ

ユーノ

（ボクより……回避が早かった！？）

ほらほら！

日向

「ぼっとしてたら！！」

ユーノ

「あ……うん！」

じゃ………。

ザッ

——行くよ！！——

Episode 12.5 ストーリー41『二人のコンピエタック』

——研究所、カプセルルーム——

コオオオオオ……。――

日向

「力の源、今ここに！」

キーン

——パワーボイス！！——

ゴォッ！

ユーノ

「こ、これは！？」

フフッ

日向

「説明してあげる……。」

“ボイスレコードシステム”、言葉を実現する可能性を秘めているの!!」

……うん？

ユーノ

「それって……。」「

うん！

日向

「ミキヤの真似!!」

ユーノ

「はぁ……ヤッパリ。」「

レッド1号

「発射。」「

ガン！ガン！ガン！ガン！ガン！

日向

「ブースターオン！」

ゴオッ！

ユーノ

「ボクも……負けられないな!!」

バッ

日向

「じゃっ！わたしから!!」

ユーノ

「うん！解っているよ!!」

ゴオオオオオオオ!!

日向

「ハンティングバスター！」

ドシュ！ドシュ！ドシュ！

レッド1号

「……。」

バッ

ドバア！ドバア！ドバア！

レッド1号

「回避成功。」

シュバババ！！

ユーノ

「逃がさないよ？」

ドドド！！

レッド1号

「ダメージ。」

ついでぎゅい!!

日向

「ラウンド・クレイモア!!」

ガチャン!

ドドドドドドドドドドドドドドドド!!

ユーノ

「日向!!」

チャキ!

日向

「ユーノ!!」

ガシャン!

——いっけえええええええええ!!——

Episode 12.5 ストリー42『ご立腹のリップ』

——研究所、カプセルルーム——

ユーノ

「はああああああ!!」

バババババババババババ!!

日向

「ステエエエエエク!!」

ドコオン!ドコオン!ドコオン!ドコオン!

カランカラン……。

レッド1号

「機能停止。」

ドサツ……!」

日向

「やった!!」

ユーノ

「ふゝ……。」

ピッ

レッド1号

「自爆起動。」

日向

「へ?」

ユーノ

「に……!」

——にげろおおおおおおお!!——

ドゴオオオオオオオオオオン……。

パラパラ

日向

「い……生きてる？」

ユーノ

「くっ、なんとか……。」「

ヴァン

リッパ

『あゝ、いい忘れたけど……自爆するから。』

ユーノ

「この……!」

ヒヤーツハツハツハツハ！！

リッパ

『うん！ヤッパリ……。』

オレさまは、“コレ”だな！！』

ウンウン！

日向

「流石、変態！抜かり無し！！」

はぁ……。

ユーノ

「なに、納得してるんだよ……。」

リッパ

『じゃっ！ゲームの続きを……。』

ピッ
ピッ

日向

「うん？」

ピッ

——レッド2号について——

「2号は、コッチで倒した！

……まさか、自爆するとは……流石、変態だ！抜かりが無い！！

そっちは大丈夫か？」

あ！

日向

「わたしと、同じだ！」

リッパ―

『……。』

ユーノ

「あ……黙った。」

リッパ―

『検索中、検索中。』

チキチキチキチキ

リッパ―

『検索中、検索終了……。』

お前ら……。

——ウゼエ——

ヴィーン！ヴィーン！ヴィーン！

コンピュータ

『自爆装置が起動シマシタ』

日向

「また、自爆！？」

リッパ

『お前ら、お休みの時間だぜ？寝んねしな……。』

——ヒヤーツハツハツハツハ！——

あせあせ

日向

「どうしよう！！」

ユーノ

「とにかく……。」「

——にげろおおおおおおお！——

Episode | 2. 5..ストーリー43【自爆のネタ】

——研究所、玄関前——

ドツカアアアアアアアアアアアン！！

ゴロゴロザアアア……！！

ふひひひ

日向

「た、たすかった……。」

むく

ユーノ

「コツチも……何とか……。」

日向

（あ！連絡を出したひとは……。）

——研究所裏口、爆発付近——

ゴウゴウ……。

ミキヤ

「おい、死んでるか？」

アリシア……。」

ガバツ！

アリシア

「二回も死なないよ！！」

フウ……。

ミキヤ

「そんなギリギリの自爆ネタ使えとは……。問題ないな！自爆だけに……。」

ヒュウウウウ……。

アリシア

「0点！」

カ〜ン

ミキヤ

「ガバツ!？」

ドサツ……!

——辛口だよ……アリシア……。——

Episode 12.5 ストーリー44【2日このキュウソク】

——早乙女家、和室——

ピピッ

——コッチについて——

「問題ない、相方も無事だし……。」

お互いに生き残ったな！

……じゃっ、またなにかあれば連絡するよ……！」

フウ……。

日向

（アレから2日……何か凄い体験だったな……。）

——姉さん……。——

日向

（ルシファアのアレ、なんだったんだろう……。）

ピンポーン

タッタッタッタ！！

アリシア

「ヤッホー！遊びに来たよ～～！！」

コラコラ

ミキヤ

「仮にも、人さまの家だろ？」

ぶ～

アリシア

「解っているもん！！」

ミキヤ

「ほんとかね～～……。」

ピンポーン

お邪魔します

日向

「あ！」

——ユーノ！！——

Episode 12.5 ストーリー45【親達のユクエ】

——早乙女家、和室——

え？

日向

「話？」

その

ユーノ

「実は……。」

あ！

アリシア

「日向のパパママは？」

日向

「父さんと母さんは……。」「

フッ

ミキヤ

「大方、朱里さんがコンビニに行く……。とか言って、創さんが探しに行ったんだろう？2日もたってるし……。」

お……。。

日向

「大当り!!」

アリシア

「あ!じゃあママが、なかなか帰れないから……。南に行ったり……。」

——くしゅん!——

ミキヤ

「パパさんが、娘が方向オンチが似なくて良かったとか、安堵したり。」

——へえええつくしよいいいい！——

アリシア・ミキヤ

「しているんだね？きつと！！」

うん……。

日向

「あはは……否定出来ない……。」

Episode 12. 5..ストーリー46【明日の為のサヨウナラ】

——早乙女家、和室——

ボォーン、ボォーン、ボォーン……。

あ……。

アリシア

「もう、こんな時間だ!!」

スッ

ミキヤ

「じゃっ、ここら辺で帰りますか!」

日向

「うん!じゃあね?」

アリシア

「パパママが、いないからって無茶……ダメだよ?」

ミキヤ

「何かあったら言え、すぐ来る。」

うん！

日向

「二人共……ありがとう!!」

ばーいばーい!!

じゃっ、明日な!!

タッタッタッタ……。

ユーノ

「じゃあボクも……。」

アレ？

日向

「何か話あったて……。」

ああ……。

ユーノ

「アレは……その……友達がね。」

日向

「友達？」

うん

ユーノ

「傷ついてしまって……。」

ケンカ！？

ユーノ

「違うよ……。」

あ……！

日向

「ゴメン……。」

ううん

ユーノ

「いいよ。」

スッ

ユーノ

「じゃあ……。」

あ！待って！！

ユーノ

「え？」

日向

「ユーノは強いし、大丈夫！！」

はは

ユーノ

「ボクは、強くなんか……。」

——ユーノ!!——

ユーノ

「!!」

日向

「自分を信じて、その子を助けなきゃ……。
わたしだって、助けてくれた!」

ユーノ

「……。」

日向

「“ある人”に追いつく……。」

ユーノ

「……。」

日向

「追いこして行かなきゃ!!」

ユーノ

「……。」

フウ……。

ユーノ

「解ってる……追いつく、いや追いこして行かなきゃ!!」

日向

「うん!」

じゃあ……。

日向

「ガンバって!!」

うん!

ユーノ

「解った!!」

日向

「話はこれだけ!」

ユーノ

「ありがとう、日向。」

ううん

日向

「いいよ……ま、恩返しと言う事で!」

フフッ

ユーノ

「日向らしいね!」

ぶーぶー

日向

「なにそれ〜!」

ユーノ

「じゃあ今度こそ！」

日向

「今度こそ！」

——明日、また会おうね!!——

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1994w/>

元神魔王リリカルなのは外伝《ロストボイストラベラーズ》Episode — 2. 5

2011年11月15日02時27分発行